

化学療法計画書

ID						指示医師:					
氏名						指導医師:					
生年月日						投与開始予定日: 年 月 日					
実施部署			発行日			投与終了日: 年 月 日					
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50						

病名	胃癌
治療法	FLTAX療法

	1	2	3
抗癌剤・商品名	5-FU	レボホリナート	パクリタキセル
規格	250mg/5mL 1000mg/20mL	25mg 100mg	30mg/5mL 100mg/16.7mL
一般名	フルオロウラシル	レボホリナート	パクリタキセル
一日投与量(規定)	500mg/m ²	250mg/m ²	60mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	750.56 mg	375.28 mg	90.07 mg
実際の投与量	750 mg	375 mg	90 mg
	499.6 mg/m²	249.8 mg/m²	60 mg/m²
投与日	day1,8,15		
1クール期間	28日間		
予定クール数			
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	大量腹水のある胃癌・癌性腹膜炎症例(PS=2かつ大量腹水かつ経口摂取不良例は除く)
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.本剤の成分およびポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中の患者及び投与中止後7日以内の患者 3.重篤な骨髄抑制のある患者 4.下痢のある患者 5.重篤な感染症を合併している患者 6.多量の腹水、胸水のある患者 7.重篤な心疾患又はその既往歴のある患者 8.全身状態が悪化している患者 9.妊婦又は妊娠している可能性のある女性 10.次の薬剤を投与中の患者:ジスルフィラム, シアナミド, カルモフル, プロカルバジン塩酸塩
中止基準	投与前の好中球数:1500/mm ³ 未満、血小板数:75,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (JCOG1108/WJOG7312Gにおける投与基準に準拠)
副作用	<p>●5-FU</p> <p>重大 1.下痢 2.出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎等重篤な腸炎 3.汎血球減少、白血球減少、好中球減少、貧血、血小板減少等 4.ショック、アナフィラキシー 5.白質脳症 6.うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 7.急性腎不全 8.間質性肺炎 9.肝機能障害、黄疸、肝不全 10.消化管潰瘍、重症な口内炎 11.急性膵炎 12.高アンモニア血症 13.肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) 14.手足症候群 15.嗅覚障害 16.(類薬にて)劇症肝炎等の重篤な肝障害、肝硬変、心室性頻拍、ネフローゼ症候群、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、溶血性貧血</p> <p>その他 食欲不振、下痢・軟便、全身倦怠感、悪心・嘔吐、白血球減少、口内炎、色素沈着、脱毛</p> <p>●レボホリナート</p> <p>重大(すべて頻度不明) 1.激しい下痢 2.重篤な腸炎 3.骨髄抑制 4.ショック、アナフィラキシー 5.白質脳症、精神・神経障害 6.うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症 7.肝機能障害、黄疸 8.急性腎不全 9.間質性肺炎 10.消化管潰瘍、重篤な口内炎 11.手足症候群 12.播種性血管内凝固症候群(DIC) 13.嗅覚脱失 14.高アンモニア血症 15.急性膵炎 16.劇症肝炎、肝硬変、心室性頻拍、ネフローゼ症候群、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症、溶血性貧血</p> <p>その他 食欲不振、悪心・嘔吐、味覚異常、腹痛、心窩部痛、色素沈着、脱毛 等</p> <p>●パクリタキセル</p> <p>重大 1.ショック、アナフィラキシー様症状 2.白血球減少等の骨髄抑制 3.末梢神経障害、麻痺 4.間質性肺炎、肺線維症 5.急性呼吸窮迫症候群 6.心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害、肺塞栓、血栓性静脈炎、脳卒中、肺水腫 7.難聴、耳鳴 8.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 9.重篤な腸炎 10.腸管閉塞、腸管麻痺 11.肝機能障害、黄疸 12.膵炎 13.急性腎障害 14.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 15.播種性血管内凝固症候群(DIC) 16.腫瘍崩壊症候群 17.白質脳症</p> <p>その他 (20%以上または頻度不明)悪心・嘔吐、食道炎、粘膜炎、腹水、腸間膜血栓症、脱毛、斑状丘疹性皮膚疹、強皮症様変化、亜急性皮膚エリテマトーデス、暗点、黄斑浮腫、関節痛、筋肉痛、筋力低下、血栓症 (5~20%)発疹、低血圧、下痢、食欲不振、口内炎、便秘、AST上昇、Al-P上昇、LDH上昇、ALT上昇、電解質異常、BUN上昇、呼吸困難、無力症、腹痛、倦怠感、頭痛、骨痛、背部痛、発熱、潮紅</p>
備考	

FLTAX療法 観察記録

所要時間: 4時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬()	入外()						
医師	指示医師:	抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由			抗がん剤以外の薬剤の変更・追加						
	パクリタキセル (mg) 一般名(パクリタキセル) レボホリナート (mg) 一般名(レボホリナート) 5-FU (mg) 一般名(フルオロウラシル)										
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止					<table border="1"> <tr> <th>投与開始時間</th> <th>調剤</th> <th>実施</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	投与開始時間	調剤	実施			
投与開始時間	調剤	実施									
投与指示	本体	側管									
	生食250mL		2時間かけて点滴【125mL/h】								
		生食100mL + グラニセロン1A + デカドロン 2 A + ファモチジン1A + ポラミン1A	30分かけて点滴【200mL/h】								
		5%ブドウ糖250mL + パクリタキセル	60分かけて点滴【270mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用								
	5%ブドウ糖250mL + レボホリナート		2時間かけて点滴【125mL/h】								
	(レボホリナート開始 1時間後に投与開始) ⇨	5%ブドウ糖50mL + 5-FU	全開で滴下(ポーラス投与)								
本体終了後除去											